

昭和の大合併（編入）

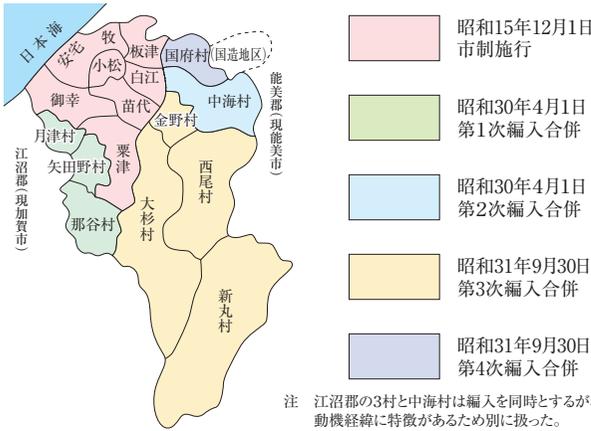
平成二十一年（二〇〇九）内で平成の大合併は終了した。自治体数は全国で三三三三から一七六〇に、石川県は四二から一九にまとまる。現在の小松市域は、戦後の昭和の大合併・編入によって成る。

紆余曲折があり、地域住民の思惑・感情も含まれ、長い歴史を経て、未来志向の上での合併結果であった。

昭和二十八年（一九五三）九月制定の「町村合併促進法」により、県指導型で試案が提示された。昭和三十年四月、ブロック毎の研究協議の結果、矢田野村、那谷村・月津村（字柴山は片山津町へ）が、第一次編入で小松市編入が実現する。この時、那谷村滝ヶ原の住民希望とのずれがあり、山代ブロックとの関わりがあって、住民投票にまで発展した。同二十九年四月、能美郡中海村が国府村との二村合併案から外れ、能南村合併促進会（能美郡南部地区の中海・金野・西尾・大杉谷・新丸村の五か村）の成果も生かされず、更に、中海村は国府・

金野両村との合併案にも賛同しなかった。この後、中海村が単独で小松市への編入を決定する（第二次編入）。同三十年三月、能美郡自治館で町村長会議を持ち、第二次編入後の善後策を検討した。能美郡南部（新丸・西尾・大杉

四次にわたる合併・編入地図（版図の広がり）



第一期の小松市域は近代の部参照。第二期は、戦後江沼郡・能美郡内の九か村よりの合併によって成るが、編入合併には四次にわたる

合併促進法」により、県指導型で試案が提示された。昭和三十年四月、ブロック毎の研究協議の結果、矢田野村、那谷村・月津村（字柴山は片山津町へ）が、第一次編入で小松市編入が実現する。この時、那谷村滝ヶ原の住民希望とのずれがあり、山代ブロックとの関わりがあって、住民投票にまで発展した。同二十九年四月、能美郡中海村が国府村との二村合併案から外れ、能南村合併促進会（能美郡南部地区の中海・金野・西尾・大杉谷・新丸村の五か村）の成果も生かされず、更に、中海村は国府・

石川県町村合併総合基本計画（第2次試案 昭和29年度試案）

合併単位	町村名	現 在		合 併	
		人口(人)	面積(平方町)	人口(人)	面積(平方町)
3	(江沼)片山津町	10,404	25.69	17,919	45.19
	(〃)動橋町	2,651	5.40		
	(〃)分校村	2,122	5.21		
	(〃)月津村	2,742	8.89		
2町2村					
5	(江沼)山代町	6,918	12.92	14,957	63.66
	(〃)東谷口村	1,418	11.86		
	(〃)勅使村	1,866	7.80		
	(〃)那谷村	1,699	22.63		
	(〃)矢田野村	3,056	8.45		
1町4村					
6	(能美)新丸町	938	83.75	15,038	233.36
	(〃)西尾村	5,180	46.35		
	(〃)大杉谷村	3,498	63.87		
	(〃)金野村	2,033	12.58		
	(〃)中海村	3,389	26.81		
5村					
7	(能美)国府村	6,779	35.04	12,782	65.29
	(〃)山上村	6,003	30.25		
2村					

『石川県町村合併誌』下巻より抜粋（現小松市に関する地域を中心に）

谷・金野の各村」と同郡北部（国府・山上・川北・久常・粟生・吉田の各村及び寺井野町・根上町）を一か町とする大同合併を模索した。一方、五か村合併の線で協議してきた中で、中海村の小松市編入が能美郡を南北に分断することになり、山間里山の四か村は同一歩調の申し合せを行う。方向性は一致したが、役場位置等でまとまらなかった。同三十一年九月十一日新丸村合併促進協議会が小松市編入を打ち出すと、同月十五日金野村が、十七日には、新丸・



昭和30年ごろの空から見た小松市の官庁街。中央白い建物が市庁舎（『小松の軌跡』より）

金野・西尾の三村議会が小松市編入を宣言した。遅れて大杉谷村も県の勧告を受けて、四村同時編入を決定した（第三次編入）。一方、能美郡国府村は、当初石川県案の中海村との合併計画に沿う方向であった。中海村が能南村合併促進研究会の五か村合併組織に入ったため、同二十九年十月、国府村は北部八か村案を検討した。しかし、中海村の小松市編入は、国府村南部住民に衝撃を与えた。このため県試案の山上



小松市への編入を祝って金野小学校グラウンドに人文字を描く（金野小学校提供）

村との合併に反対、小松市編入を最良と声明を出す。更に、里川・古河地区の署名運動もあり、村議会が紛糾する。古河・里川地区は小松市へ、国造地区は新辰口町へと分村合併となる。時には同三十一年九月二十八日のことである（第四次編入）。かくして、新市は、面積三七七平方キロ、人口八万八七三七人となり、人口・面積とも県下二番目の自治体となった。

平成の合併時には、小松市については変動なかった。（山前圭佑）



現在の小松市役所（昭和63年庁舎落成、1月より業務開始。平成22年9月撮影）